

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

517-540

事務事業名	県街路事業負担金				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	建設管理課		包含する細々目	1	8	4	3	12	2	90,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	事業路線等工事箇所数	工事箇所数(箇所)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			4			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	負担金を支払うことにより、県事業が進捗し、県管理道路の有効利用の向上が図られる。	負担金支払工事箇所数 / 負担金対象工事箇所数 (%)	18目標	100	最終目標	
			18実績	100	19目標	↑
			23目標		23実績	最終目標達成年度
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	↑
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	長野県が施行する街路事業等の地元負担金。 (事業費) × (事業ごとの地元負担割合) によって算出される負担金額を長野県に支払う。	18年度の実績 事業名、路線等名、事業費及び負担金額は次のとおり。 県単街路 飯田中津川線・都市計画道路下山妙琴原線・羽場大瀬木線 地方道路交付金(街路) 羽場大瀬木線	県事業費(千円)	46465
	19年度計画 事業名、路線等名は次のとおり。 補助住宅市街地基盤整備(街路)(都) 羽場大瀬木線 県単街路(都) 羽場大瀬木線・(都) 下山妙琴原線・(都) 飯田中津川線	県事業費(千円)	90000	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	46,465	90,000
事業費計(A)	46,465	90,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度 50
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	179
	トータルコストA + B	46,644	90,179

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動できる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 地元から要望による、県管理街路の改築に伴い。	事業を取り巻く状況の変化 事業に対し地元関係者が協力的であり、早期供用を望んでいる。	事業に対する市民や議会の意見 道路改築事業に関する要望の中で強く要望されている。 同盟会でも強く要望されている。
---	---	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由) 県管理道路の有効利用と利便性の向上。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由) 県事業のため。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) 事業が設定され、採択されている。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由) 県道事業に影響を与える。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由) 県道整備であり、県事業が必要。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由) 県管理の道路は市にとって幹線道路であり、市民生活には整備する事が重要である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) <input type="checkbox"/> 不可能 (その理由) (事業費)長野県が事業主体で事業を行っているため。(人件費)負担金及び地元調整事務のみ。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (その理由) 生活道路もかねており、そこだけを有料化するということはありません。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (その理由) 生活道路もかねており、そこだけを有料化するということはありません。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="text"/>	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 県の事業に対する負担金であり、進捗や工法も県が決めている。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法		

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	